

NEW DOWN MUFFLER

モンキー・ゴリラ

取り付け対象フレームNO. 1000001以降

04-02-240 (ブラック)

04-02-241 (メッキ)

此の度は、タケガワ製品をお買い上げ戴きまして誠に有難うございます。

此のマフラーは、長年に渡るモンキー・ゴリラの商品開発のノウハウを駆使し、設計・製造しております。

STDマフラーに比べ全域にわたりパワーアップさせあらゆるユースに対応出来る様、扱い易い特性に設計しております。

御使用の際は、此の取扱説明書をよく御読みになって御理解した上御使用して戴きます様御願い致します。

STDマフラーとは異なったサウンドをお楽しみ下さい。

☆正しい安全にご使用して頂く為に☆

注意 此の表示を無視した取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害が想定される内容を示しています。

- 一般公道では、法的速度を守り、遵法運転を心掛けて下さい。
(法定速度を超える速度で走行した場合、運転者は道路交通法、速度超過違反で罰せられます。)
- 此のマフラーは、進行方向に向かって右側からマフラーが立ち上がっています。エンジン回転中は、容易に足などをマフラー方向にもって行かない様心掛けて下さい。(火傷の原因となります。)
- 作業を行う際は、必ず冷間時(エンジン及びマフラーが冷えている時)に行ってください。(35℃以下)
(火傷の原因となります。)
- 規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行ってください。
(ボルト及びナットの破損、脱落の原因になります。)
- 製品には、エッジや突起部分がある場合があります。作業時は、手を保護し注意して作業を行ってください。
(ケガの原因になります。)
- STDマフラーに比べ、キックスターターが踏みにくくなります。足などマフラーに当たらない様、注意してキックスターターアーム踏み抜いて下さい。(マフラーの損傷、ケガの原因となります。)
- マフラーを水洗いする時は、必ず冷間時(マフラーが冷えている時)に行ってください。
(マフラーのヒビ割れの原因となります。)
- 車両を駐車させる場合は、歩行者等がマフラー等に接触しない様な場所に止めて下さい。歩行者や走行車両等が、邪魔にならない場所に止める様心掛けて下さい。
(歩道等に、歩行者が歩く方向にマフラーを向けて車両を止めたりすると、歩行者がマフラーに接触し、火傷又は物的損害を被ったり車イスの人が通れなくなる場合があります。)
- JMC Aカードに明記している規定値は、エンジンがノーマルの状態での規定値です。エンジンパーツを交換及び改造している車両は、JMC A認定外になります。マフラーの分解、加工、改造は、絶対に行わないで下さい。分解、加工、改造を行った場合、JMC A認定外になります。
- 走行前は、各部を点検しネジ部等の緩みが無いかを確認し緩みがあれば規定トルクで確実に増し締めを行ってください。
(部品の脱落の原因となります。)

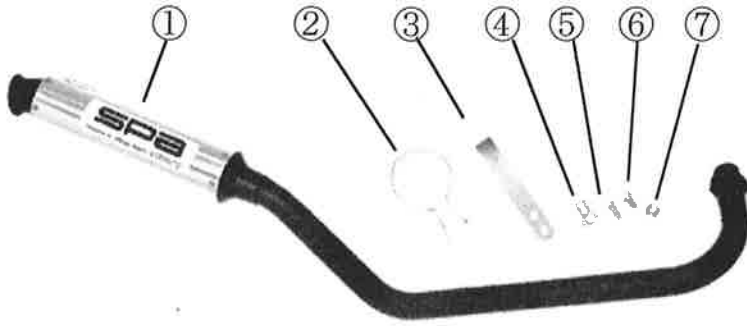
警告 この表示を無視した取り扱いをすると人が死亡したり重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- エンジンを回転する場合は、必ず換気の良い場所で行ってください。密閉した様な場所では、エンジンをかけないで下さい。
(一酸化炭素中毒になる恐れがあります。)
- エンジン回転中は、マフラー出口を絶対にのぞかないで下さい。
(一酸化炭素中毒、失明等になる恐れがあります。)
- 走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止し、走行を中止して下さい。
(事故につながる恐れがあります。)
- STDマフラーに比べ最低地上高が低くなっています。走行中は、マンホール等、路面の凸凹に注意して走行して下さい。
(転倒につながる恐れがあります。)
- STDマフラーに比べ、バンク角は浅くなります。走行前に必ずチェックを行いそのバンク角以上にバンクさせない様な走行を心掛けて下さい。
(転倒につながる恐れがあります。)
- エンジン回転中やエンジン停止後しばらくの間は、エンジン及びマフラーは高温となっています。近くにガソリン等の危険物や燃えやすい物を絶対に置かないで下さい。
(火災になる恐れがあります。)
- 製品包装のビニール袋は、幼児の手の届かない所に保管するか、廃棄処分して下さい。
(幼児がかぶったりすると、窒息の恐れがあります。)
- 作業を行う際は、水平な場所で車両を安定させ安全に作業を行ってください。
(作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。)
- 点検、整備等を行った際、損傷部分が見つければ、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行ってください。
(そのまま使用すると、事故につながる恐れがあります。)
- 点検、整備は、取扱説明書又はサービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。
(不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。)

◎取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、当社は賠償の責を一切負いかねます。

◎此の製品を取り付け使用し、当社製品以外の部品に不具合が発生しても当社製品以外の部品の保証は、どの様な事柄でも一切負いかねます。

◎レース用パーツ及び他社製品とのマッチングのお問い合わせはご遠慮下さい。



NO.	Description	QTY.
1	マフラーASSY.	1
2	クランプバンド	1
3	マフラスター	1
4	ピボットナット	1
5	フランジボルト M8X16	1
6	フランジボルト M8X20	1
7	フランジナット M8	1
	JMCAカード (02410031)	1

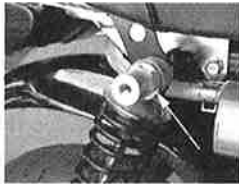
○セット内容をお確かめ下さい。

取 付 要 領

○作業に適した工具を用意し、車両を確実に支え安定させます。

警告

- ・水平な場所で車両を確実に支え安定させる事。
- ・エンジン及びマフラーが完全に冷えていることを確認する事。



右側リヤショック上部のナットを取り外し④ピボットナットを取り付け規定トルクで締め付けます。

T=3. 5kgf-m

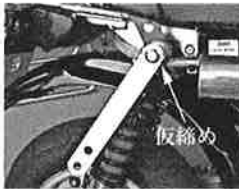
注意：必ず規定トルクを守る事。



シリンダーヘッドエキゾースト側のSTDナットを均等に規定トルクまで締め付けます。

T=1. 0~1. 2kgf-m

注意：必ず規定トルクを守る事。



③マフラスターを④ピボットナットに⑤フランジボルトを用いて仮締めします。



④ピボットナット部の⑤フランジボルトを規定トルクまで締め付けます。

T=2. 7kgf-m

注意：必ず規定トルクを守る事。

○エアクリーナーケースASSY.を取り外し、STDマフラー裏側のナット・エキゾーストフランジ部のナット・マフラスター部のボルトを取り外し、STDマフラーを取り外します。



①マフラーCOMPをシリンダーヘッドエキゾースト側に差し込みSTDナットを用いて仮締めします。



②クランプバンド部の⑥フランジボルトを規定トルクまで締め付けます。

T=2. 7kgf-m

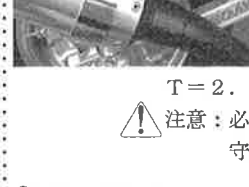
注意：必ず規定トルクを守る事。



エキゾーストパイプガスケットを外し、新品のエキゾーストパイプガスケットに交換します。



①マフラーCOMPのサイレンサー部に②クランプバンドを差し込み③マフラスターに挟み込む様にして③マフラスターの上部の穴に⑥フランジボルトと⑦フランジナットを用いて仮締めします。



- エアークリーナーケースASSY.を取り付けます。
- マフラーに付着した汚れを拭き取ります。
- エンジンを始動させ排気漏れの有無を確認します。

純正品番 18291-001-010

【排気量アップ、二種登録される方への注意】

- 此のマフラーは、排気量アップ及びエンジンパーツの交換を行っている場合は、JMCAの認定外になります。
- 排気量アップ等で音量が増加した場合、道路運送車両の保安基準をオーバーする音量になった場合、道路交通法違反となります。
- 排気量アップ等で振動が多くなった場合は、04-02-001のラバーマウンティングステーKITの使用を又、音量が増大した場合は04-02-006のマフラーリストラクターの使用をお勧めします。

◎性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で商品及び価格は予告無く変更されますのでご了承下さい。

◎クレームについては商品の材料及び加工に欠陥があると認められた商品に対しては、商品お買い上げ後1ヶ月以内を限度として、修理又は、交換させて戴きます。正しい取付け、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。

◎補修部品に付きましては、商品番号及び図中の番号にて御申し込み下さい。尚、不明な点がございましたら御電話にて御問い合わせ下さい。

◎この取り扱い説明書は、本商品を破棄されるまで保管下さいませ御願ひ致します。